

TOPIC

1

町内の仕事に理解を深める

7

22

第6回 白糠の仕事人

久遠塾主催の「白糠の仕事人」が公民館で開催されました。6回目となる今回は、白糠高校の生徒など約10人が参加。講師はスクールカウンセラーの長谷川郁子さんが務めました。

長谷川さんは、スクールカウンセラーになった経過や自分の好きな詩やフレーズを紹介しながら、「つらいときや悲しいときには視野が狭くなるもの。そんなときは、信頼している人に話をすることが一番いい。話すことで心が整理できる」とアドバイスをしました。



「先人の言葉から救われることも多い」と話す長谷川さん

TOPIC

2

7

26

決勝でプレーできたのは最高の思い出

釧路厚生社杯中学校選手権大会

中学校軟式野球大会が7月23日～26日まで釧路市民球場で開催されました。白糠・音別・庶路の連合チームは決勝に勝ち進み、釧北・釧共栄・釧美原の連合チームと対戦。試合は4対4の引き分けで終了となりましたが、抽選の結果、準優勝となりました。

新型コロナウイルスにより中体連が中止

となったため、3年生はこの大会で引退となりました。庶路学園9年生の森響希さんは「最後の大会でみんなが一丸となっていい試合ができたのは、最高の思い出です」と笑顔で話していました。



TOPIC

3

白糠高校生が海岸調査

7

29

海洋漂着ごみ調査

白糠高校の1年生24人が、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として、「総合的な探究の時間」に海洋漂着ごみ調査を行いました。

7月17日、和天別川河口付近の海岸に漂着しているごみ拾いを実施。20日には収集したごみをプラスチック類や紙類、布類など8種類に分別。29日の授業でデータを整理し、レポートを作成しました。

大澤結さんは「ペットボトルや缶のごみが多かった。海に物を捨てるのはやめてほしい」と話していました。



各グループごとにデータを整理しました